

基本目標番号	施策番号	施策内容	担当課	KPI	実績の根拠	現状値(H27)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31実績	目標値(H31)	目標(H31)	評価	H31状況	H31課題・評価	総評
基本目標4 田舎付き合 いイノベー ション(技術 革新)	施策1:ICT技術 を活用した医 療・介護・子育 て環境の充実	◆南部医療協を中心に、医療介護連携研究会を立ち上げ各自治体の特性を活かした医療介護連携のあり方を検討します。→近隣村確認済み。実施は困難。	民生課 健康支援係	①医療介護連携システムの構築	①エイル	0連携	0	1	1	1	1	2	2連携	○	○阿南病院と介護事業所の間で、医療情報・介護情報の連携なし。 ○飯伊地域では、南信州広域連合がイズムリンクを介して飯伊地域の医療・介護の連携を推進しており、飯伊の自治体はこれに合意している。エイルは現在阿南町・阿南病院間の連携のみであり、このシステムが近隣町村に普及する可能性がなく、また阿南病院以外の医療機関と連携がとれない状況であるため、イズムリンクの更新(R3年度)を目途に廃止とする方向とした。	R2年度末の事業中止に向けて、関係機関との調整をする。	R2年度末の事業中止に向けて、関係機関との調整をする。
		◆阿南病院の電子カルテ情報から、介護分野に開示できるデータを抽出、待機させ、在宅医療への移行にあわせて共有できる仕組みづくりを構築します。また、介護分野と医療分野の情報を共有することにより安心した支援体制を確立します。	民生課 健康支援係	②医療機関数の維持	①阿南病院 ②富草診療所 ③和合診療所 ④新野診療所 ⑤富草歯科診療所 ⑥伊東歯科医	6箇所	6	6	6	6	6	6	6箇所	○	①阿南病院、②富草診療所、③和合診療所、④新野診療所、⑤富草歯科診療所、⑥伊東歯科医	医師や看護師にも高齢化がおきており、長期的に見た医師や看護師の確保が課題となっている。	現状の医療機関数の維持と医師の確保が課題。
		◆南信州圏域の先進医療に携わる病院を中心としたism-Link(イズムリンク)の推進に南信州広域連合として参画し、医療の情報共有を図ることにより住み慣れた地域で暮らすことのできる環境づくりを支援します。	民生課 福祉係	③特養施設待機者数	特養待機者数	23人	20	11	19	27	23	0	介護認定「3」以上の認定者数の現状維持未満で生活困窮者の待機者「0」を目指す。	×	H27-20人(28.3末) H28-11人(29.3末) H29-19人(30.3末) H30-27人(31.3末) R1-23人(R2.3末)	特養が整備されており比較的特機期間が短いなかで入所することができている。反面、独居・老々世帯など家族介護者がいない家庭では、介護認定後直ちに施設への入所志向が強い。介護予防事業等を通じ、介護認定の程度を悪化させない取組を継続していきたい。	常に需要が供給を上回っている状況のため、待機者0を達成することは現実的に不可能。ただし、生活に困難が生じている方については、比較的特機期間が短い状況で入所することができている。
	施策2:人口減少に対応する 先進技術を活用した暮らし かた	◆福祉施設が近隣市町村に比べ充実した町において、在宅から地域密着、医療、特養(文言の修正、在宅から施設)まで円滑かつ安心して介護サービスを受けられる体制づくりを支援します。	教育委員会 子ども教育係	④子育て支援計画策定に基づく事前ニーズの調査質問項目 現在の子育てについて不安に感じているかの設問で「特に不安を感じていない」回答の割合	不要	9.80%	9.8	-	-	-	3.59%	12	12%以上にする	×	子育て支援計画策定に基づく事前ニーズ調査を令和元年8月に実施した。該当する質問項目への回答割合は3.59%となった。		12%の目標達成には至らなかった。子育てに関して何らかの不安を持っている回答数の増加と不安を感じていないという回答数の減少が結果に反映された。この結果も踏まえ新たな支援計画の策定を令和2年に行った。本計画により、今後の子育て制度の拡充に努める必要がある。
		◆山間部における買い物弱者対策として、気軽に買い物ができるようICT技術を活用したネット購入の仕組みづくりを検討、計画します。	総務課 企画財政係	①ICTを活かす買い物支援システムの計画について構築する。	不要	—	0	0	0	0	0	1	1計画	×	方法や必要性について検討を行っている。	買い物弱者は高齢者が多く、ICT等の技術導入に対応できる様になるまでに理解と時間を要する。 買い物弱者の導入に対してのニーズ把握ができていない。	商工会とも協議を重ねるなかで、引き続き検討していく。
		◆環境を考慮し、かつ情報伝達の効率化を図るため、従前の紙媒体での行政情報の発信を、ICT技術を活用して行えるよう検討、計画します。	総務課 行政係	②ICTを活かす行政情報システムの計画について構築する。	不要	—	0	0	0	0	0	1	1計画	×	広域連合を主体として、先進地視察や研修会を開催し、方法や必要性について検討している。	高齢者が多く、当町にとって、ICT等の技術導入に対応できる様になるまでに理解と時間を要する。	広域連合を主体として、先進地視察や研修会を開催し、方法や必要性について検討してきたが、当町の現状を考えると、構築までには時間を要する。
基本目標4 田舎付き合 いイノベー ション(技術 革新)	施策3:人や地域のつながりから 郷土愛を育むための支援	◆地域主体の集落コミュニティを、子どもの頃から積極的に参画するよう、子ども会・育成会や子育てサークル、小中学校との連携を図りながら推進します。	教育委員会 社会教育係	①こども育成会活動組織の維持	①富草 ②大下条 ③和合 ④新野	4地区	4	4	4	4	4	4	4地区	○	基本目標3施策1KPI②と同じ ①富草、②大下条、③和合、④新野各地区の活動助成を実施した。	基本目標3施策1KPI②と同じ 活動については支部それぞれで特色のある活動を実施しています。支部の役員は保護者が多いが、活動を行う際の保護者の負担が大きいように感じる。	基本目標3施策1KPI②と同じ 各支部ごとの地域の特徴を生かし、子どもが主体的に活動できる事業展開を図る。
		◆地域の伝統芸能、催しが継続的に行われるよう関係団体と連携しながら総合的に支援を図ります。また、個々の行事を連携させることにより、多くの参加者が集まれるような仕組みづくり、持続可能な仕組みづくりを住民と一緒に検討します。	総務課 企画財政係	②地区担当職員事業の新たな仕組みづくり	不要	54地区	54	-	-	-	-	54	54地区	×	平成28年度から廃止している。	H30に実施した総合計画策定のためのアンケート調査によると、再開を希望する割合が28%、必要ないの割合10%、制度を認知していなかった割合が62%であった。 求める役割としては、役場への問合せの総合窓口が一番多く、次いで区要望など役場へ提出する書類の作成補助となった。	再開に向けて、あり方も含め検討していく。

基本目標番号	施策番号	施策内容	担当課	KPI	実績の根拠	現状値(H27)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31実績	目標値(H31)	目標(H31)	評価	H31状況	H31課題・評価	総評	
基本目標4 田舎付き合 いイノベー ション(技術 革新)		◆南信州広域連合「基本構想・基本計画」にある大学等との連携による地域施策研究プロジェクトに参画し、地域の課題に関する調査、分析を通じて地域の担い手育成を行う政策を検討、推進します。また行政も様々な課題や施策に住民も参画していけるようワークショップ等を開催し、地域と一体となったまちづくりを推進します。	総務課 企画財政係	③大学等連携した分析・調査協定数	①感動 ②買い物	0協定	0	2 (2)	1 (3)	1 (4)	1 (5)	5	5協定	○	愛知大学と協定を結び、各種調査を実施している。 H28-感動行政1、買い物実態1=2 H29-感動行政1 H30-観光施設調査(県境域開発協議会) H31-次期総合計画の策定	調査結果を次の展開(行動)に活かしていない。	過去の調査結果を次の展開(行動)に活かす取り組みを行っていく。	
	施策4: 年を重ねても安心して暮らし続けられる環境整備と支援	◆ふっとふっと出前講座や地域音楽療法、ふれあいサロン等の介護予防ケア一般介護予防事業等の充実を図ることにより、年齢を重ねても安心した生活をおくれる健康で自立した生活を継続できるよう体制整備を目指します。 ◆また配食サービスや安心コール、緊急通報事業等の生活支援サービス事業を展開することで、独居・高齢者世帯に安心した生活をおくれるの安心した生活を支える生活支援)体制整備を目指します。 ◆生産年齢人口の年齢層にも、健康診断の受診を積極的に行っていたくよう、消防団の集団検診等の総合的な政策を推進します。	民生課 福祉係・地域包括支援センター	①介護予防ケア(文言の修正:一般介護予防事業等)の参加人数	出前講座 〇〇人 音楽療法 〇〇人 サロン 〇〇人 ふっと 〇〇人 計 〇〇人	4,223人	4995 出前講座 84人 音楽療法 532人 サロン 308人 ふっと 3,299人 計 4,223人	3406 出前講座 229人 音楽療法 513人 サロン 242人 ふっと 3,406人 計 4,390人	4,193 出前講座 146人 音楽療法 313人 サロン 265人 ふっと 3,288人 認知症サ ホーター講座 69人 計4,081人	出前講座 120人 音楽療法 276人 サロン 119人 ふっと 3,435人 認知症サ ホーター講座 30人 計3,980人	5,025	5年で3%増	×	健康運動指導士を派遣するふっとふっと出前講座や、社会福祉協議会が行う音楽療法、地域住民によるサロン、NPO委託にとるふっとふっと事業など、健康で自立した生活を維持できるための一般介護予防事業を行っている。 高齢者人口は減少しており、参加者総数も減少している。 H29年度より、マスコットキャラクター「ふみこちゃん」の普及啓発活動、H30年度より、介護保険を利用する手前である事業対象者に、ふっと教室(介護予防クラス)への参加勧奨活動を実施。ふっとふっと事業参加者数が増加している。	高齢者人口が減少する一方で就労している高齢者は年々増加傾向にあり、事業が想定する対象者は減少しているため、一般介護予防事業への参加者を増やすことは難しい。普及啓発活動の実施により、ふっとふっと事業参加者数が増えていることから、普及啓発活動の検討が課題。	高齢化率が高く、上昇傾向にあり、後期高齢者が増加している当町において、高齢者が健康で自立した生活を継続するために、今後ますます介護予防活動は重要になってくる。高齢者人口の減少やシルバー世代の就労継続により、一般介護予防事業への参加者数を増加させることは困難ではあるが、事業内容や普及啓発活動の検討を実施し、引き続き取り組んでいきたい。		
				民生課 健康支援係	②集団検診結果説明会の参加割合	説明会参加者/対象者	61.26	61.26	62.27	64.68	61.72	65.12	71.75%	5年で3%増	△	H27-61.26%(302人/493人) H28-62.27%(307人/493人) H29-64.68%(293人/453人) H30-61.72%(258人/418人) H31-65.12%(267人/410人)	前年度より3%増	H27年度より3.74%増。今後も新型コロナウイルスの状況に応じて対応し、必要な人・多くの人が結果説明を受けられるよう努める。
		施策5: 有害鳥獣の駆除と有効活用	◆狩猟免許者の確保や育成を行い、優良農地への被害を最小限に食い止めるための事業支援をします。 ◆有害鳥獣駆除を円滑に行うため、大規模な捕獲檻等も含め環境整備を検討、実施するとともに侵入防止柵の設置及び防除講習等の予防策を併行して事業実施します。 ◆有害鳥獣で駆除された動物の皮・肉等の有効活用について広域的な連携を図れるよう推進します。	建設環境課 環境係	①町内にある猟友会支部数	①富草 ②大下条 ③和合 ④新野	4支部	4	4	4	4	4	4	4支部の維持を目指す	○	継続して4支部で活動を行っている。 新規狩猟免許取得者も令和元年度は第一種(銃)を含む5名となっており、会員数の減少も抑えられている。 秋ごろから豚コレラウイルスが全国的に広がり、町内でも感染イノシシが発見された。 今後イノシシの捕獲数減少や、利活用が出来なくなるなどの影響が考えられる。	被害報告は昨年同様少ない状況で、駆除の実施をこのまま続けてよいが疑問視する声もある。 町内でも豚コレラウイルスに感染したイノシシが確認された影響で、加工施設への持ち込みが自粛されており、イノシシの肉・皮などの利活用ができない状態になっている。	被害報告の減少から現在の捕獲体制を疑問視する声もあるが、捕獲を中止・縮小した場合に、会員の高齢化等の問題から今の捕獲体制に戻すことは難しいと思われるため、対応は慎重に検討する必要がある。 有害鳥獣駆除対策協議会等の意見も聞きながら、捕獲活動を実施していきたい。

基本目標番号	施策番号	施策内容	担当課	KPI	実績の根拠	現状値(H27)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31実績	目標値(H31)	目標(H31)	評価	H31状況	H31課題・評価	総評
基本目標4 田舎付き合 いイノベー ション(技術 革新)	施策6:確かな暮らしに必要なおいしい水の保全と下水環境の整備	◆安定した生活基盤を維持するため、上下水道施設の維持、整備を、経営戦略に基づいて計画的に実施します。	建設環境課 上下水道係	①上下水道経営戦略の策定	不要	—	0	1	1	1	1	1	策定	○	平成28年度に今後の施設整備にかかる費用や資金運用計画を組んだ経営戦略を策定済み。 平成29年度には、戦略に基づき料金改定を実施した。	人口減少による料金収入の減少。	今後、増税による料金改定や、老朽管路の更新を控えている為、経営戦略の見直しや、適正な使用料金の検討を行いながら、持続可能な運営を行っていく必要がある。
			建設環境課 上下水道係	②下水道経営戦略の策定	不要	—	0	1	1	1	1	1	策定	○	平成28年度に今後の施設整備にかかる費用や資金運用計画を組んだ経営戦略を策定済み。 平成29年度には、戦略に基づき料金改定を実施した。	人口減少による料金収入の減少。	今後、増税による料金改定や、施設の更新を控えている為、経営戦略の見直しや、適正な使用料金の検討を行いながら、持続可能な運営を行っていく必要がある。
			建設環境課 上下水道係	③水道加入率	※決算統計の数字と整合をとること	91.7	91.7	92.9	95.4%	92.2	91.1	90.9	90.90%	○	町営水道の加入率 H27-91.7% H28-92.9% H29-95.4% H30-92.2% H31-91.1% (※住民基本台帳ベースで全件見直した結果、減となった。)	普及率はある程度の水準に達している。	普及率はある程度の水準を達しており、給水区域外の方についても、飲用水の確保に対して補助を行っている。
			建設環境課 上下水道係	④下水道加入率	決算統計による数値を活用(給水人口÷行政区域内人口×100) ※決算統計の数字と整合をと	86.88%	86.88%	86.45%	86.99%	87.00%	87.15%	90.90%	86.64%	△	農業集落排水の加入率 H27-86.88% H28-86.45% H29-86.99% H30-87.0% H31-87.15%	居住者の意向が全てであり、急激な増加は望めない。	加入率は着実に改善しているものの、居住者の意向が全てであり、急激な増加は困難なため、目標達成には至らなかった。
	施策7:地域と行政が一体となって自然災害から町を守る	◆地域防災計画を策定します。地域防災計画とハザードマップを活用した周知活動や防災訓練を実施することで防災意識の向上を図ります。 ◆山間部の点在する集落のライフラインの確保のため、井戸や貯水槽施設整備や防災倉庫の更新を計画的に整備します。 ◆地域防災の要となる消防団の存在は不可欠。地元の若者の活動への理解を得るとともに、地元企業からも協力を得る活動、団員募集も含め、総合的な仕組みづくりを検討します。 ◆消防団活動が、迅速かつ円滑に行えるよう研修、訓練及び器具・施設の整備・更新を計画的に行います。また、飯田広域消防阿南消防署と連携を図りながら有事の際には迅速な活動ができるように連携を図ります。	総務課 危機管理 防災係	①防災計画の策定の見直し	不要	0地区	0	0	0	1	1	1	1地区	○	令和元年7月に修正。今後も必要に応じて修正。 職員向けの研修、住民向けに防災講演会、防災講座を実施し、防災意識の向上に努めた。	必要に応じ、見直しを行っている。	地域防災計画は、県防災計画修正に合わせ、随時修正することができた。今後も、随時修正する。 令和元年度にハザードマップを更新。令和2年4月に全戸配布することができた。今後も、防災意識向上のため啓発が必要。
	施策8:広大な町と地域の特性を活かした交通政策	◆継続可能な公共交通を、官民で連携を図りながら事業を戦略的に計画し、検討のうえ実施します。また、新たな公共交通システム実施にあたっては住民への理解と周知を行います。 ◆通院・通学の足を確保するため、車両等の更新を計画的に実施します。 ◆南信州地域交通網形成計画と連携を図りながら地域住民の公共交通確保を計画的に推進します。	総務課 企画財政係	①町民バス利用者実績 他交通の利用者実績	町民バス年間利用者数	4,800人	4,800	4,155	3118	3,010	2,564	2,500	2,500人	○	平成28年10月に、新野地区の地理的な特徴も踏まえ、地区内の町民バスを廃止し、タクシー券購入補助を開始した。	町民バスの運営について、町民バス運行の年間委託料が、1,700万円(スクール除く)に対して約36万円しかなく、平成28年の路線廃止に伴い多少は改善されたものの、財政面の負担は依然として大きい。 また、利用率が悪いことが指摘されている。	バス利用者の減少は目標の範囲内に留まった。タクシーの利用者は増加してきているが、目標値まで増加はしなかった。利用者のニーズに合わせた仕組みの必要性とともに、財政的な負担も考慮していく必要があるため、令和2年度に、公共交通システムの見直しを行う。
			総務課 企画財政係		タクシー年間利用者数	0人	0	—	898	852	1,264	1,500	1500人	△			
			総務課 企画財政係	②新たな公共交通システム		—	0	0	0	0	0	1	1システム	×	基本目標4施策8KPI①と同じ 平成28年10月に、新野地区の地理的な特徴も踏まえ、地区内の町民バスを廃止し、タクシー券購入補助を開始した。	町民バスと民間のタクシー業者で連携して交通弱者対策を行う方向性のため、民間を圧迫しないシステムにする必要がある。	基本目標4施策8KPI①と同じ 令和2年度に、公共交通システムの見直しを行う。